

患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2018.7.1 July vol.149

発行：医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集：はつらつ通信局



今年のお花見は、好天、満開



デイケアで天神山緑地に行きました

毎春デイケアでは恒例の外出行事としてお花見を行っています。今年は5月7日(月)～11日(金)の日程で、天神山緑地を訪ねました。あらかじめ希望を募って参加されたご利用者さまは約50名。各曜日10名ほどが当院の車で天神山緑地へ向かい、満開の桜と緑地散策を楽しみました。

その年によって開花時期が変わり、天候も異なるため、すべての曜日のご利用者さまに満足していただけるよう、職員はその日最も見ごろの桜を探して場所を変えることもしばしば。今年は時期に恵まれ、全日おひさまの下で満開のお花見が楽しめました。今回訪ねた天神山緑地は、昨年桜を探していたときに見つけた場所です。桜に近い駐車場を使えるよう事前申請し、滝の流れる美しい日本庭園も楽しみました。「初めて来ました!」「こんな素敵なおところがあるんだね!」というご利用者さまの弾んだ声に、毎年桜を追っている職員もにっこり。100点満点のお花見となりました。



病棟紹介

PART 3

2A病棟

人工呼吸器装着の患者さまが最多

チームの連携で希望に応えるケア

連携を密にするチームケアで効率化を図る2A病棟患者さまとご家族にとつての最良を求めて職員一丸



打ち合わせをする村上師長

チームを超えて手伝いに入ります。「予測して動き、みんなが結束するんです」と村上師長。毎日のスケジュールを把握した上で、業務がスムーズに流れるよう一人ひとりが能動的に動いています。

さらに、多職種によるチームケアも浸透。人工呼吸器ケア検討委員会の設置や呼吸リハビリの開始から約4年を経て、病棟とリハスタッフ、臨床工学技士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどの連携が定着しました。「多職種でのカンファレンスが以前よりずいぶん多くなり、患者さまのためにできることも増えました」と村上師長。臨床工学技士の発案で人工呼吸器のアラームとナースコールを連動させるなど、各職種の専門性は病棟の業務改善にも役立っています。

自然な排痰を促す呼吸リハ、人工呼吸器を装着したままでのシャワー浴など、多岐にわたります。ケアの充実が病棟の業務を増やすため、ミスや事故を招く遠因になりかねませんが、当院では受け入れ開始の平成19年以来、命に関わるような事故は一度もありません。「人工呼吸器の事故は命に直結するので、いつもチエックにチエックを重ねています。事故ゼロは日々の努力の賜物です」と村上師長は力強く語ります。



人工呼吸器のチェックは異なる職員が毎日複数回実施

チームケアの浸透で多職種が自然に連携

チームケアの浸透も多様なケアを支えています。看護師はA、Bの2チームで業務を分担しチームごとに連携していますが、手の足りない場があれば声を掛け合い、

常に基本に立ち返り安心の看護を提供

現在計画しているのは、看護師によるサクシジョン（痰の吸引）の手法を再確認する研修。「多い人だと1日に30回くらい行う日常的な仕事なので、クセもつきやすいんです。だからこそ、出血なく安全で清潔に行うため、定期的に手技を学び直す機会を設けたいです」と村上師長は語ります。

また、人工呼吸器を筆頭に医療機器の多い2A病棟は、日々の機器移動により床がコード類で雑然としがちですが、気づくたびに整理してつまずきを防止。ケアの基本を大切に、小さなこともコツコツと実践して、安心の看護を提供できるよう日々努めています。



人工呼吸器装着の方もストレッチャーで入浴できる病棟内のシャワー室



排痰を促す呼吸リハビリ中のリハスタッフ



人工呼吸器を載せた車いすに乗って離床



ご家族に最も喜ばれているシャワー浴



患者さま・ご家族が望まれるケアの実現に努めています



各職種の専門性が生きるカンファレンスでケアの質を向上

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研磨します。

基本方針

- 一. 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二. 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三. 職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四. 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

待合ロビーの環境を音でデザイン

心地よい音楽でリラックス

ロビーBGMとして 4月からスタート

待合ロビーで診察室入口に
並んで置かれている木調筒型の
スピーカーにお気づきです
か？当院では4月からこのス
ピーカーで穏やかなインスト
ルメンタル曲を流しています。

きっかけは美術家で「びょう
いんあーとぶろじえくと」代表
の日野間尋子さんを介して
知った、音響心理学と聴覚生
態学を研究する京都精華大学
の小松正史教授の取り組み。



小松教授が作曲した環境音楽のCD

公共機関の音環境デザインで
注目される小松教授は、医療
機関からの依頼で緊張緩和を
目的にリラックス効果の高い音
楽を作曲。この医療機関では
待合室だけでなく、事務室や
集中治療室などでもBGMと
して使っており、新聞にも取り
上げられました。



再現力に定評のあるエムズシステムの
波動スピーカー

オーディオに造詣の深い志田
勇人理事長がこの小松教授の
研究に関心を持ち、理事長主
導で当院も音楽による環境デ
ザインを取り入れることとな
りました。

皆さんのご感想が 今後の研究に反映

音楽療法をはじめとする音
楽による心のケアの歴史はま
だ浅く、専門家の間でもまだ
まだ研究の積み重ねが必要と
されています。

当院での取り組みの様子は
小松教授に報告され、研究に
生かされる予定です。ちよつと
したことでも構いませんので、
皆さんのご感想を当院職員に
ぜひお聞かせください。



スピーカーと音楽療法についての説明も掲示



札幌ライラック病院は、
機能強化型 在宅療養支援病院です。

機能強化型在宅療養支援病院とは、
下記の要件を満たした病院です。

- ・3名以上の医師が在宅訪問診療に配置
- ・緊急での往診実績が年間10件以上
- ・看取り実績が年間4件以上



送迎付き 企業健康診断

当院では、企業が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、
一般の健診とは別体系の料金を設定しています。

無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

(例)基本健診(聴力・視力・尿・貧血・脂質・血糖・肝機能・
胸部X線の各検査、身体測定、問診)

企業料金 4,000円



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822

診療時間 [平日] 9:00~12:30
13:30~17:00 [土曜] 9:00~12:00
面会時間 [平日] 14:00~20:00
[土・祝] 12:00~20:00

URL <http://www.lilac.or.jp>



「はつらつ通信」へのご意見・ご感想をお待ちしています。

TEL:011-812-8822

E-mail: ooba-h@lilac.or.jp (編集委員:大場・佐藤)